

9月は「世界アルツハイマー月間」です

認知症について理解しましょう

世界保健機関(WHO)等では、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症の理解と支援を呼びかける国際的な取り組みが行われています。

福祉課介護班 ☎(84)1257
地域包括支援センター ☎(80)3339

認知症とは、「さまざまな原因で脳の働きが悪くなり、記憶力や判断力等が低下し、日常生活に支障が出ている状態」をいいます。誰もがなり得る可能性があり、多くの人ととって身近なこととなっています。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、認知症について理解し、認知症の人やその家族を地域で支えていきましょう。

認知症の初期症状の例

- ・ もの忘れが多くなる
 - ・ 料理や片付け、計算などでのミスが目立つ
 - ・ 同じ物を買ってくる
 - ・ 重要な約束や予定を忘れる
- いつもと様子が違うと思うことや介護で困ったことがあれば、早めにかかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう。

認知症高齢者等見守りシール

認知症の高齢者等が行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードが読み取られると、保護者へ瞬時に発見通知メールが届きます。発見者はQRコードを読み取ると、ニッケネームや注意すべきことなど対処方法がわかるので安心です。



利用を希望される場合は、福祉課介護班または地域包括支援センターへご相談ください。

認知症簡易チェックサイトをご活用ください

自分や家族が認知症かどうかチェックできる認知症簡易チェックサイトを導入しています。個人情報を入力が不要で、利用料は無料です。(通信料は自己負担)



↑詳しくはこちら

認知症あんしんガイド(認知症ケアパス)

認知症についての基礎知識や認知症の進行状態に応じたサービスや支援、相談先等の情報をまとめたパンフレットを作成しました。



福祉課介護班・地域包括支援センターで配布中

図書館で認知症特設コーナーを設置

9月4日(水)～29日(日)、町立図書館1階に、認知症に関する図書の特設コーナーを設置しています。認知症についての理解を深めるためにも、この機会にぜひお読みください。